



栄光の未来

R6.12.2 発行
第 21 号

令和7年度生徒会三役が決定！

11月28日（木）に行われた立会演説会では、立候補者の4名の生徒とその責任者が全校生徒に向けて熱く演説を行いました。それに引き続き行われた投票の結果、4名全員が信任され、来年度の正副会長と書記局長が決定しました。

全校朝会でも話したことがあります、自分が生徒会に期待することは「自治」の推進です。言い換えれば、全校生徒が「生徒の手による学校づくり」の主体者としての意識をもち、真に望ましい学校づくりに向けて挑戦し続けることを、生徒の皆さんに期待しているのです。それに向けて全校生徒をまとめ、力強く牽引する存在として、4名のリーダーにける期待も大きいものがあります。

長谷川次期生徒会長をはじめ4名の生徒の皆さんは、全校生徒からの信任を得ました。当選の喜びとともに、一人一人の肩には重責がのしかかることとなります。しかし、それを覚悟で立候補した彼らは、必ずやその重責を果たしてくれると信じています。

それとともに、彼らを選んだ全校の皆さんには、彼らを支える力強い応援団になるとともに、彼らの掲げた公約の実現に向けて共に考え、活動していく使命があると言えると思います。役職や肩書きの有無は違っても、全校生徒が「自治」への思いを一つにして、東石山中の歴史に新たな1ページを刻んでくれることを願っています。そして、自分自身も精一杯応援したいと思っています。



強い決意と覚悟をもって立候補しました！



全校生徒に熱く訴える！

自主的に落ち葉集めに取り組む！

12月に入り、秋の深まりから冬へと季節が進んでいると感じるようになりました。登校時、多くの生徒が防寒着を着て登校するところからも、それを感じます。

学校には多くの木がありますが、この時期になると葉を落とすものも多く、地面が落ち葉で覆われます。

そのような状況が見られた11月下旬、昼休みに校門付近の落ち葉を一生懸命に集めている生徒の姿がありました。その数およそ20名。話を聞くと、応援委員会で今年度から始めた取組にボランティアの生徒も加わって活動をしているとのことでした。



この姿はまさに「生徒の手による学校づくり」そのものです。現状に問題意識をもち、その解決や改善に向けて主体的に取り組む素晴らしい姿です。さすが東石山中の生徒だと、うれしく思いました。